

参考文献一覧

こちらでは各項目の内容について、もっと詳しく知りたい方へ読んでいただきたい本を掲載しています。

項目番号	項目名	文献の著者名	発行年	参考文献	発行者・出版社
1-1	「琵琶湖」の名前	木村至宏	2001	琵琶湖—その呼称の由来	サンライズ出版
2-1 2-2 2-トピック	食文化 食材 湖魚料理	滋賀県	2017	平成29年度版滋賀の農林水産業	滋賀県
		滋賀の食事文化研究会	1998	くらしを彩る近江の漬物	サンライズ出版
		滋賀の食事文化研究会	2003	湖魚と近江のくらし	サンライズ出版
		滋賀の食事文化研究会	2009	つくってみよう滋賀の味	サンライズ出版
滋賀の食事文化研究会	2012	食べ伝えよう滋賀の食材	サンライズ出版		
2-トピック	琵琶湖八珍	大沼芳幸	2017	琵琶湖八珍—湖魚の宴絶品メニュー	海青社
2-5	水辺のあそび	嘉田由紀子・遊磨正秀	2000	水辺遊びの生態学	農山漁村文化協会
		渋沢敬三	1960	魚名考	角川書店
		柳田国男	1962	ちいさき者の声『定本柳田国男集』(第20集)	筑摩書房(原著1935年)
3-2	城	滋賀県教育委員会(編)	2006	近江城郭探訪—合戦の舞台を歩く	滋賀県教育委員会、滋賀県文化財保護協会
		「琵琶湖がつくる近江の歴史」研究会	2002	城と湖と近江	サンライズ出版
3-3	湖上交通史	用田政晴	1999	信長 船づくりの誤算—湖上交通史の再検討—	サンライズ出版
3-5	近江八景と琵琶湖八景	琵琶湖百科編集委員会(編)	2001	知っていますかこの湖を—びわ湖を語る50章	サンライズ出版
3-7	稲作の歴史	守山市誌編さん委員会(編)	2005	野洲川デルタの開発	守山市
		佐藤洋一郎	2003	イネと稲作の新・日本史	サンライズ出版
3-8	里山の成立	水野章二	2015	里山の成立	吉川弘文館
3-9	洪水の歴史	滋賀県	1966	滋賀県災害史	滋賀県
		滋賀県	2014	台風18号に係る災害記録誌	滋賀県
3-10	歴史に残る大地震	中田高・今泉俊文(編)	2002	活断層詳細デジタルマップ	東京大学出版会
		宇佐美龍夫ほか	2013	日本被害地震総覧 599-2012	東京大学出版会
3-13	仏教美術—琵琶湖と仏像—	滋賀県教育委員会	2015	1冊でわかる滋賀の仏像	サンライズ出版
		寿福滋・高梨純次	2010	近江の祈りと美	サンライズ出版
		宇野茂樹	1973	近江路の彫像	雄山閣出版
4-2	市民活動	井手慎司・伊藤真紀	2013	琵琶湖の水環境をめぐる市民運動史 生活協同組合研究 2013年2月号 Vol.445	生協総合研究所
4-3	水と生活文化	鳥越晴之・嘉田由紀子(編)	1984	水と人の環境史—琵琶湖報告書	お茶の水書房
4-5	エネルギー	滋賀県県民生活部エネルギー政策課	2016	しがエネルギービジョン	滋賀県
4-6	産業	グヴァタル研究所(編)	2002	地球が生き残るための条件	家の光協会
4-7	漁業	滋賀県	2017	平成28年度滋賀の水産	滋賀県
4-8	漁具・漁法	金田禮之	2013	新編 漁業法詳解(増補四訂版)	成山堂書店
4-11	棚田保全活動	田村善次郎	2003	「棚田の謎」千枚田はどうしてできたのか	OM出版
4-12	森林・林業	滋賀県琵琶湖環境部森林政策課	2016	琵琶湖森林づくり基本計画(改訂)2005~2020	滋賀県

項目番号	項目名	文献の著者名	発行年	参考文献	発行者・出版社
4-13	里山	亀山章(編)	1996	雑木林の植生管理—その生態と共生の技術—	ソフトサイエンス社
4-14	森林の多面的機能	林野庁	2014	平成26年版 森林・林業白書	全国林業改良普及協会
		木平勇吉(編)	2005	森林の機能と評価	日本林業調査会
5-1	地形	滋賀県自然誌編集委員会	1991	滋賀県自然誌	滋賀県自然保護財団
5-2	湖底地形	滋賀県自然環境研究会(編)	1979	近江盆地の地形	滋賀県自然保護財団
5-4	湖岸	西野麻知子・秋山道雄・中島拓男(編)	2017	琵琶湖岸からのメッセージ—保全・再生のための視点—	サンライズ出版
5-5	内湖	西野麻知子・浜端悦治(編)	2005	内湖からのメッセージ—琵琶湖周辺の湿地再生と生物多様性保全—	サンライズ出版
5-6	生い立ち	琵琶湖自然史研究会	1994	琵琶湖の自然史	八坂書房
5-8	水棲動物の化石	琵琶湖自然史研究会	1994	琵琶湖の自然史	八坂書房
5-9	陸棲動物の化石	高橋啓一	2016	ゾウがいた、ワニもいた琵琶湖のほitori	サンライズ出版
6-4	物質循環	武田博清・吉部城太郎	2006	地球環境と生態系—陸域生態系の科学	共立出版
6-5	一次生産	滋賀県琵琶湖研究所(編)	2005	琵琶湖研究所記念誌(所報22号)	滋賀県琵琶湖研究所
6-6	蜃気楼	日本蜃気楼協議会	2016	All about Mirages 蜃気楼のすべて!	草思社
6-7	比良おろし	松井一幸・武田栄夫	2001	ピワコダスから見た近江盆地の局地風 その1 比良おろし	ピワコダス研究短報
7-1	生物多様性	西野麻知子・秋山道雄・中島拓男(編)	2017	琵琶湖岸からのメッセージ—保全・再生のための視点—	サンライズ出版
		滋賀県生きもの総合調査委員会(編)	2016	滋賀県で大切にすべき野生生物—滋賀県レッドデータブック2015年版—	サンライズ出版
7-2	固有種	西野麻知子・秋山道雄・中島拓男(編)	2017	琵琶湖岸からのメッセージ—保全・再生のための視点—	サンライズ出版
		滋賀県生きもの総合調査委員会(編)	2016	滋賀県で大切にすべき野生生物—滋賀県レッドデータブック2015年版—	サンライズ出版
		浦部美佐子	2016	湖と川の寄生虫たち	サンライズ出版
7-3	希少な野生生物の現状と保護	滋賀県生きもの総合調査委員会(編)	2016	滋賀県で大切にすべき野生生物—滋賀県レッドデータブック2015年版—	サンライズ出版
		滋賀県	2015	自然本来の力を活かす「滋賀のいのちの守り」—生物多様性が戦略—	滋賀県
7-6	水草	角野康郎	2014	ネイチャーガイド 日本の水草	文一総合出版
		角野康郎	1994	日本水草図鑑	文一総合出版
7-7	ヨシ	西野麻知子・浜端悦治(編)	2005	内湖からのメッセージ—琵琶湖周辺の湿地再生と生物多様性保全—	サンライズ出版
		西野麻知子(編)	2009	とりもどせ!琵琶湖・淀川の原風景—琵琶湖・淀川の生物多様性保全に向けて—	サンライズ出版
		西野麻知子・秋山道雄・中島拓男(編)	2017	琵琶湖岸からのメッセージ—保全・再生のための視点—	サンライズ出版

参考文献一覧

項目番号	項目名	文献の著者名	発行年	参考文献	発行者・出版社
7-8	水辺の植物	藤井伸二	1994	琵琶湖岸の植物—海浜植物と原野の植物	植物分類地理
7-9	山の植物	滋賀県生きものの総合調査委員会(編)	2016	滋賀県で大切にすべき野生生物—滋賀県レッドデータブック2015年版—	サンライズ出版
7-10	外来種問題	堤茂和・土井典・中井克樹	2008	滋賀県の外来生物に対する取組の経緯と新しい条例の施行. 都市緑化技術, (68):18-21.	都市緑化機構
		滋賀県	2015	自然本来の力を活かす「滋賀のいのちの守り」—生物多様性が戦略—	滋賀県
7-11	外来魚	山根猛(編)	2017	特集:琵琶湖の漁業と外来魚. 海洋と生物, (228):3-46.	生物研究社
7-12	魚	滋賀県立琵琶湖文化館(編)	1991	湖国びわ湖の魚たち	第一法規出版
7-13	魚と水田	前畑政善	2014	田んぼの生きものたち ナマズ	農山漁村文化協会
7-14	水鳥	西野麻知子・秋山道雄・中島拓男(編)	2017	琵琶湖岸からのメッセージ—保全・再生のための視点—	サンライズ出版
7-15	鳥	山岸哲(監修)	2002	近畿地区・鳥類レッドデータブック—絶滅危惧種判定システムの開発	京都大学学術出版会
		滋賀県生きものの総合調査委員会(編)	2016	滋賀県で大切にすべき野生生物—滋賀県レッドデータブック2015年版—	サンライズ出版
7-16	両生類・爬虫類	滋賀県生きものの総合調査委員会(編)	2016	滋賀県で大切にすべき野生生物—滋賀県レッドデータブック2015年版—	サンライズ出版
7-17	底生動物	西野麻知子・秋山道雄・中島拓男(編)	2017	琵琶湖岸からのメッセージ—保全・再生のための視点—	サンライズ出版
7-18	昆虫	滋賀県生きものの総合調査委員会(編)	2016	滋賀県で大切にすべき野生生物—滋賀県レッドデータブック2015年版—	サンライズ出版
		蜻蛉研究会(編)	1998	滋賀県のトンボ. 琵琶湖博物館調査報告第10号	滋賀県立琵琶湖博物館
8-トピック	新たな水質管理をめざして	津田久美子・早川和秀・岡本高弘	2014	有機汚濁と環境基準—琵琶湖を例にして—. 用水と廃水 56(3):59-72.	産業用水調査会
8-トピック	塩化物イオンの長期変動	早川和秀・岡本高弘	2010	琵琶湖における塩化物イオン濃度の長期変動とその増加要因 (2)琵琶湖の塩化物イオンの負荷量推定と過去30年間の増加要因について. 陸水学雑誌 71:285-303.	日本陸水学会
9-1	水利用	近畿地方建設局琵琶湖工事事務所・水資源開発公団	1993	淡海よ永遠に	近畿地方建設局琵琶湖工事事務所・水資源開発公団
9-5	琵琶湖総合開発	琵琶湖総合開発協議会	1997	琵琶湖総合開発事業25年のあゆみ	滋賀県
9-6	琵琶湖の水位と操作	琵琶湖河川事務所	2011	瀬田川洗堰	琵琶湖河川事務所
9-8	琵琶湖と淀川流域	琵琶湖・淀川水質保全機構	2017	BYQ水環境レポート	琵琶湖・淀川水質保全機構
		近畿地方整備局	2009	淀川水系河川整備計画	近畿地方整備局
9-トピック	琵琶湖疏水	大津市(編)	1982	新修大津市史 近代 第5巻	大津市
		京都市(編)	1975	京都の歴史 8 古都の近代	京都市
10-1	滋賀県環境基本条例と第四次滋賀県環境総合計画	滋賀県琵琶湖環境部環境政策課	2014	第四次滋賀県環境総合計画	滋賀県

あとがき

「琵琶湖ハンドブック」三訂版が完成し、琵琶湖に関心をお持ちの皆さんにお届けできることを、執筆者一同嬉しく思っています。初版、改訂版ともに、県内外の各方面からご好評をいただいている様子なので、三訂版をできるだけ早くとの思いがありましたが、諸般の事情もあり今日に至りました。その間にも琵琶湖とその環境を取り巻く自然的、社会的状況は相当変化しました。それに伴い、この三訂版の構成を見直し増補しましたが、特筆すべき一つは「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」（2015年9月）の成立です。

ここでは琵琶湖の持つ役割について、治水、利水などの従来からの価値に加えて、“豊かな生態系と貴重な自然環境及び水産資源の宝庫”としての幅広い価値を改めて強調しています。そして、その恵沢を国民がひとしく享受し、後代に継承すべきものと規定し、このために実施すべき「琵琶湖保全再生施策」は、“国が必要な支援を行う”としています。その中で、特にその施策対象が“森林、農地、市街地、河川、湖辺、湖内”と環境場の全体にわたること、湖と人々との関わり方の多様性、関連する主体の多様性を強調しています。新しい法律が示唆する琵琶湖の価値観と現象理解の変化を反映して、本書の記述にも、現象面、施策面に関して、「多様性」という側面がより強く打ち出されていること、また、流域社会に関する項目が新たに追加されていることが御理解いただけるでしょう。

内容構成は、第1章には琵琶湖の歴史などの概要を紹介し、第2～3章では、琵琶湖と滋賀に関する文化、伝統、宗教までも深く紹介しております。第4章では、人の暮らしと琵琶湖の多面的な関わりを記述し、第5～7章では、湖の物理、生物、化学的な面での実情、課題をできるだけ体系的にまとめています。第8～9章は、主に、対策、施策の過去からの歴史を琵琶湖とその集水域に対して集約した部分です。最終10章は県域を越えて、集水域としての関西、さらには広く世界との関連で琵琶湖を位置づけ、持続可能社会との関係性に言及しています。

ハンドブックそのものの趣旨、特徴などは、初版、改訂版と大きく異なるものではありません。初版からの構成を踏襲することで、これまでのハンドブック愛用者にとって入りやすく、また各項目の時代的変遷も理解しやすいかと考えた次第です。

今回も、執筆陣は琵琶湖環境の研究、行政、保全活動に長年関わってきた専門家の中から適任者を選びました。多くの方がこのハンドブックを手に取り、琵琶湖とその環境に関する理解と関心を深めていただけることを、執筆者一同心より願っております。

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター長 内藤 正明